情報提供依頼書

LGWAN 系・インターネット系 共通仮想サーバ基盤等の更新に係る 情報提供依頼（RFI）

実施要領・要求仕様条件

令和9年度（2027 年度）構築・移行 ／令和 10～14 年度（2028～2032 年度）サービス提供

本書の位置付け	概要
文書区分	事業者向け情報提供依頼（RFI）。入札仕様書ではありません。
調達検討範囲	共通仮想基盤／画面転送／ファイル無害化／メールセキュリティ
契約の検討案	必要な機能・性能を一体のサービスとして提供し、本市がサービス利用料を支払う方式
支払の検討案	令和9年度支払0円／令和 10～14 年度の 60 か月均等払いの可否
回答期限	配布日から4週間（具体的な締切日時は配布時に指定）

発出日　：令和8年11月9日

発出者　：中津川市　総務部　総務課　情報システム管理係

担当窓口：安江

連絡先　：0573-66-1111

回答先　：itsystem-aws@city.nakatsugawa.lg.jp

※ 本 RFI は予算措置及び契約方式等の検討資料を得るためのものです。調達の実施、契約締結、参加又は受注を保証しません。

1　目的及び本 RFI の位置付け

本市では、令和9年度に共通仮想サーバ基盤、インターネット系画面転送基盤、ファイル無害化システム及びメールセキュリティシステムを更新することを検討しています。本 RFI の主な目的は、事業者がこれらの機能を一体のサービスとして提供し、本市がサービス利用料を支払う方式について、第5章に示す条件での実現可能性及び事業者の参加意向を把握することです。

事業者には、確定した入札仕様に基づく積算ではなく、現時点の情報を前提とした技術提案、概算費用及び契約上の課題の提示を求めます。必要な情報が不足している場合は、積算上の前提条件を記載してください。

2　更新対象及び提案の考え方

区分	更新対象	検討の基本方針
①	LGWAN 系・インターネット系共通仮想サーバ基盤	VMware から Hyper-V への移行を想定。次期機器仕様は事業者提案。
②	共通仮想サーバ基盤関連機器	物理サーバ機器を想定。次期機器仕様は事業者提案。
③	インターネット系画面転送基盤	SBC／RBI 等を含めて方式を提案。Web 会議の映像・音声視聴を必須。
④	ファイル無害化システム	画面転送及びインターネット系物理端末からの取り込みに対応。クラウド優先。
⑤	メールセキュリティシステム	添付無害化・迷惑メール対策・送受信制御・アーカイブ等。クラウド優先。

提案に当たっては、必須要件を満たすことを前提に、現行方式と異なる構成、クラウド化、必要な仮想マシンの削減及び5年間の総費用の低減につながる代替方式も認めます。

3　現行環境及び技術要件

3－1　共通仮想サーバ基盤

項目	現行又は想定条件
物理サーバ・仮想マシン	物理サーバ4台、仮想マシン約 36 台（うち画面転送3台・ファイル無害化1台・メール無害化2台）。
次期 VM 規模	30 台を基本ケースとし、最大 36 台のケースも比較。関連基盤に移設する VM は二重計上しない。
仮想化方式	現行 VMware／次期 Microsoft Hyper-V を基本想定。移行手段を提案。
ゲスト OS	主に Windows Server 2019、一部 Linux。次期 Windows Server 2025 Standard を基本想定。
ネットワーク	現行は主に 10Gbps、LGWAN 系・インターネット系は主に VLAN 等で論理分離。
次期機器仕様	物理台数2～4台程度を参考に、CPU・メモリ・ストレージ構成及び必要ライセンスを事業者提案。
冗長化	物理ホスト1台の障害時でも、必要な VM の稼働継続又は速やかな復旧が可能な構成。
バックアップ	実現方法・構成・容量・復旧方法・運用を事業者提案。必要費用を含める。

現行 CPU・メモリ・ストレージ容量等は確認できる範囲で別紙に記載します。ただし、現行と同一の機器スペックは求めません。

仮想サーバに構築されている既存システムにおいて更新後も継続利用するシステムのライセンスは現行環境の構築業者から引き続き提供してもらう想定ですが、ライセンスも含めた提案でも構いません。

5年間の性能、保守継続性、可用性及び費用を考慮した構成を提示してください。

3－2　共通仮想サーバ基盤関連機器

項目	現行又は想定条件
マイナンバー系ファイルサーバ	物理サーバ（ハードウェア RAID 標準搭載） 2台構成／本体：16TB、バックアップ：8TB／UPS を 1 台含む
画像・動画用ファイルサーバ	物理サーバ（ハードウェア RAID 標準搭載） 2台構成／本体：16TB、サブ：16TB／UPS を 1 台含む
プロキシサーバのログ収集用サーバ	物理サーバ（ハードウェア RAID 標準搭載） 1 台構成／本体：8TB

5年間の性能、保守継続性、可用性及び費用を考慮した構成を提示してください。

3－3 インターネット系画面転送基盤

区分	条件・要件
現行の参考値	Linux SBC 方式／仮想マシン3台／総利用者約 1,000 人／平均同時接続約 100 人／最大約 200 人。
必須	LGWAN 系端末から安全にインターネット上の Web を閲覧できること。
必須	Zoom、Microsoft Teams、Google Meet 等の Web 会議の映像・音声を視聴できること。
必須	LGWAN 端末上の既存ブラウザ、Office 及び業務アプリの機能・利用方法を制限しないこと。
必須	外部ファイル取り込み時に無害化システム等へ適切に連携できること。
希望	YouTube 等の一般動画・音声再生、WebGL2 を利用する GIS 等の閲覧。対応可否・追加費用を提示。
事業者提案	SBC、RBI、セキュアブラウザ等の方式、利用制約、GPU/WebGL2 の安全性及び性能。

Web 会議は視聴のみを必須とし、マイク・カメラを使用した双方向通信、会議主催及び画面共有は必須としません。

3－4 ファイル無害化システム

項目	条件・要件
現行利用実績	画面転送及びインターネット系物理端末からの無害化は、月間約 500～600 件、合計約 90GB。
ファイル容量	現行の上限は最大約 30GB との認識（要確認）。大容量ファイルの利用は極めて少ない。
必須	画面転送経由・インターネット系物理端末経由の双方から、所定の無害化を経て LGWAN 系へ取り込めること。
優先方式	クラウド型を優先。対応しない場合は代替構成も提案可。
事業者提案	転送経路、検査方式、容量・件数上限、例外処理、データ保管、ログ、追加料金、大容量代替策。

※ 外部メールの添付ファイル数約 13,000 件／月は上記 500～600 件には含みません。両者を別の処理規模として扱ってください。

3－5 メールセキュリティシステム

Microsoft 365 ライセンス調達及び Exchange Online へのメール本体移行は令和8年度に別途実施予定であり、本 RFI には含めません。移行後も現行の m-FILTER、Mail Defender 及び Fast Sanitizer 等を継続利用し、令和9年度にメールセキュリティ機能を更改する想定です。

区分	条件・要件
現行利用規模	外部メールの添付ファイル数は月間約 13,000 件弱。メール1通の添付容量上限は 10MB。
対象機能	添付ファイル無害化、迷惑メール対策、送受信制御、メールアーカイブ等。クラウド化を優先。
既存ルール	キーワード制限、CC 禁止等を含む既存設定の維持範囲は事業者提案により判断。差分と代替策を明示。
アーカイブ	最低1年保存（必須）、3年保存（希望）。クラウド型と更新後オンプレ型を比較。
過去データ	新システムへの移行は必須としない。DVD 等への書き出し保管も選択肢。検索・閲覧方法は説明。
検索・認証	本人の送受信メール及び権限ある職員の所属共通メールを検索・閲覧できること。Entra ID の SSO 必須。
利用端末	LGWAN 系及びインターネット系の双方からメール検索、例外取得申請及び承認ができること。
隔離メール	迷惑・不審メールを隔離可能。管理者が確認・解除。受信者への通知方式は事業者提案。

メール添付ファイルの例外取得

通常、LGWAN 系に取り込むメール添付ファイルは無害化済みのものを原則とします。無害化できなかった添付ファイルについては、業務上必要な場合に限り、以下の手順で例外取得できることを求めます。

- 職員による取得申請及び上長等による承認を、インターネット系又は LGWAN-ASP 側のシステム上で完了できること。
- 承認者の権限は所属単位又は職員単位で設定できること。
- LGWAN 系への取り込み前にウイルスチェックを実施し、脅威が検知された場合は取り込みを禁止できること。
- 申請・承認・検査・取得の履歴を記録できること。対応可能なファイル形式及び制限事項を提示すること。

ウイルスチェック通過は無害化と同等の安全性を保証するものではありません。事業者は、残存リスクと本市セキュリティポリシーへの適合性、必要な追加対策を説明してください。

3－6 LGWAN 系からのクラウド接続

LGWAN 系端末からクラウドサービスへの直接接続は、ISMAP 登録サービス又は LGWAN-ASP を対象とすることを基本とします。ただし、登録等だけで接続可能と判断するものではなく、適用する自治体ネットワークモデル及び本市の情報セキュリティポリシーへの適合、認証、接続先制御等が必要です。

条件に合致しないクラウドサービスは画面転送等による利用を検討してください。無害化前のファイルは LGWAN 系へ直接保存せず、所定の無害化手順又は承認・検査を伴う例外取得手順を経る構成としてください。

4 設置・移行・運用保守条件

4－1 設置及び構築

項目	想定条件
設置場所	市庁舎内サーバ室を基本。ただし代替構成・設置場所も提案可。
ラック	既存ラック流用を基本とし、レール等の必要部材費用を含める。
電源	既存電源を利用。200V は未整備のため必要時は工事内容と費用を示す。
UPS	更新対象に関連する UPS を更新し費用に含める。
移行	令和9年度中に旧 VMware 環境と新環境を並行稼働し、移行完了を想定。
サービス提供開始	令和 10 年4月1日から開始予定。
停止作業	原則として休日又は平日夜間。必要な作業費を含める。
旧機器撤去	令和 10 年度当初、現行契約事業者が撤去・返却予定。本 RFI の新規見積には含めない。

4－2 運用保守・定期停電

運用保守は令和 10 年4月1日から令和 15 年3月 31 日までの5年間を想定します。通常保守時間は平日8時 30 分～17 時 15 分を基本に、事業者から対応体制・障害時の連絡及び復旧条件を提案してください。機器及び必要ライセンスのサポートは5年間継続できることを求めます。

電気設備の法令点検に伴い、年1回、原則として土日の日中に停電があります。システム停止、復電後の起動、稼働確認、報告を含む計5回分の対応費を見積に含めてください。

4－3 契約終了時

契約満了時の機器の処分について、①機器の所有権を本市に移転し、本市が処分する方式、②事業者が機器を撤去し、処分する方式のそれぞれについて、対応可否、実施条件、本市にとっての利点及び不利な点を示し、推奨する方式及びその理由を提案してください。対応できない方式がある場合は、その理由を示してください。

費用については、各方式における5年間のサービス利用料総額と、契約満了時に本市が別途負担する費用の有無及び概算額を示してください。事業者が機器を撤去する場合は、記録媒体の安全な消去及び消去証明書の提出を必須とします。

5 想定契約方式及び支払条件

項目	検討条件
契約形態	機器調達、設計・構築・移行、ライセンス、クラウドサービス利用、運用保守を含むサービス利用契約
令和9年度	設計・構築・移行実施、支払0円。
令和 10～14 年度	サービス利用の5年間（60 か月）。サービス提供に必要な経費を含む利用料を令和 10～14 年度の 60 か月で支払う。
年度別支払い	5年間で原則同額。1円単位の端数調整方法は契約時に協議。
契約期間・会計	6年度にまたがる契約及び債務負担行為の可能性を想定。庁内での法務・会計上の確認を前提。
実施体制	協力会社・サービス提供者等の参画は可。元請による一元的な取りまとめを希望。

特に、初年度支払0円への対応可否、資金負担・金融費用、検収、所有権、中途解除時精算、クラウドサービス調達の整合性及び対応できない場合の代替条件について、明確な回答を求めます。

6　情報提供を依頼する事項

(1) 参加意向・契約条件

第5章の契約形態に示す「契約対象」、「支払方法」への対応可否、参加意向、困難な理由及び代替条件。

(2) 技術構成・セキュリティ

共通仮想基盤・画面転送・ファイル無害化・メールセキュリティの推奨構成、製品、セキュリティ要件への対応、必要ライセンス、代替提案。

(3) 移行・スケジュール

令和9年度中の構築可否、必要発注時期、機器納期、並行稼働・切替方式、夜間・休日対応及びスケジュールリスク。

(4) 契約満了・運用

5年間の保守条件、年次停電対応、所有権移転／機器撤去、媒体消去、途中解約の取扱い。

(5) 概算費用

別紙 Excel「RFI_サービス利用料_見積回答様式.xlsx」に、6区分のサービス利用料算定内訳、初期構築費相当額・5年間の利用・保守費相当額、第1期契約総額、月額及び年度別支払額を入力してください。比較案の差額及び第2期の提供可否・条件も同 Excel で回答してください。第2期の参考費用は第1期合計に含めません。

(6) 第2期のサービス提供可否

令和 15～19 年度を第2期とした場合、同一又は同等の機能・サービスを提供できる見込みについて、「可能／条件付きで可能／困難／現時点では未定」の区分で回答してください。

併せて、継続可能な機能・サービス、製品・機器の保守期限、機器入替・システム再構築・データ移行の要否、第1期の契約満了時の機器取扱いとの関係、想定する提供条件及び継続提供上の主なリスクを提示してください。

7　提出資料及び回答方法

提出資料	内容
(必須) 情報提供回答	参加意向、対応可否、課題、想定構成、移行・保守条件をまとめた任意様式の資料。
(必須) 概算見積 Excel	本 RFI に添付する指定様式。 6 区分の費用、総額、月額、年度別支払額を入力。
(任意) 構成図・製品資料	提案方式の概略構成、製品仕様、サポート条件、類似実績等。

項目	記載事項
回答期限	令和8年12 月4日　まで
提出方法	電子メール (Word／PDF 及び Excel 等の電子データ)
提出先・問い合わせ	総務課　情報システム管理係　安江 メールアドレス：itsystem-aws@city.nakatsugawa.lg.jp ※メールでのみ質問を受付けます。

回答可能な範囲での情報提供を想定しています。設計図書の完成や確定見積を求めるものではありません。算定できない項目は、理由及び積算に必要な条件を記載してください。

8　留意事項

- 本 RFI は発注・契約・受注を保証するものではありません。実施内容、契約方式、支払条件、予算、スケジュール等を変更・中止する場合があります。 第2期のサービス提供可能性の照会も、契約更新・継続発注を約束するものではありません。
- 本 RFI への回答は、将来の入札等への参加義務を生じさせません。また、回答の有無・内容のみで将来の事業者選定を決定するものではありません。
- 資料作成及び回答に要する費用は事業者負担とします。

- 回答内容は予算・調達方針・仕様検討に活用する場合があります。営業秘密等の取扱いは、関係法令・条例等に従うものとし、秘密情報は該当箇所を明示してください。
- 必要に応じて追加確認、ヒアリング又は参考資料の提供を依頼する場合があります。

9 現行環境の参考情報

LGWAN 系・インターネット系共通仮想サーバ

項目	現在のスペック
物理サーバ／VM	4台／36 台（次期約 30 台を基本想定）
CPU	92 個
メモリ	238GB
ストレージ容量・使用量（HDD）	18,110GB
OS 領域	7,910 GB（うち使用済み 3,630GB）
仮想基盤保守期限	令和 9 年度中
ストレージ機器	1 台（1.2TB）
仮想 OS 用バックアップサーバ	1 台（仮想サーバ4台分のバックアップ）
UPS	5 台
ラック	旧富士通製ラック
継続利用想定のライセンス	WindowsServer2025 ユーザ CAL、無線 AP サーバライセンス、プロキシサーバライセンス、メールアーカイブサーバライセンス、資産管理システムライセンス
更新が必要なライセンス	病院用メールシステム（同一システムでの更新）、メール無害化システム、ファイル無害化システム

※ 事業者は不足情報を前提条件として明示し、見積に反映してください。